

クローバー Clover

病院ホームページに
アクセス出来ます。



編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071

2026.Jun.
vol.81



医務局

君津中央病院の未来を創る！



医療技術局



事務局

理念

私たちは、良質で安全な医療を提供し、
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1 患者さんの権利と尊厳を尊重し、患者さん中心の医療を推進します。
- 2 患者さんに信頼される質の高い医療を提供します。
- 3 地域の中核病院として、高度専門医療、救急医療、小児・周産期医療、災害医療および感染症医療を提供します。
- 4 地域連携を推進し、必要とされる医療を提供することで、地域・社会へ貢献します。
- 5 職員の教育・研修を推進するとともに、次世代を担う医療人を育成します。
- 6 チーム医療を推進し、経営の健全化と明るく働きがいのある職場をめざします。

目次

- 新年度を迎え、地域の皆さまへ向けて。…………… 1
- 医務局 眼科 …………… 2
- 看護局 6階東病棟 …………… 3
- 地域のいのちを守るために
君津中央病院企業団「経営強化プロジェクト」… 4
- 患者総合支援センター …………… 5
- 大佐和分院/君津中央病院附属看護学校 … 6
- インフォメーション …………… 7



認定第 JC295-5 号
一般病院 2 (3rdG:Ver.3.0) 2024.8.23 ~ 2029.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるように、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

Information

FUTURE IS BRIGHT! みらいは、君の手の中に

2026年8月19日(水)開催

※荒天時：8月21日(金)

第3回

医療専門職を目指す 高校生のための見学会

「漠然と医療関係の仕事に就きたいと思っ
ているが、どんな仕事があるんだろう…」
百聞は一見に如かず。
現場の空気を肌で感じる。
私たちの仕事を知っていただき、皆さんの進
路選択の参考になるように企画しました。



見学を予定している職種

薬剤師
診療放射線技師
臨床検査技師
理学療法士
作業療法士
臨床工学技士
歯科衛生士
視能訓練士
管理栄養士
調理師
臨床心理士/公認心理師
がんゲノム医療
治験コーディネーター

院内ツアーも
あるよ♪

お申し込みはこちらから

申込期間：7月1日～7月20日



HPからは是非ご覧ください。
昨年度の様子も公開中です



健康診断のご案内

就職前に必要な健康診断(雇入時
健康診断)や、労働安全衛生法に基
づく健康診断(定期健康診
断など)を行っています。

団体での申込
も可能です。



◀健康診断ご利用の
ご案内のページ

人間ドックのご案内

病気の早期発見のための人間ドックを
行っています。病気はある程度進行しな
いと自覚症状が現れません。詳しい検
査を多項目行うことで、病気の早期発見
や、健康診断では発見できなかった異常
が見つかることもあります。病気の早期
発見・早期治療へつなげるために、定期
的な人間ドック受診をおすすめします。



◀人間ドックご利用の
ご案内のページ

新年度を迎え、地域の皆さまへ向けて。

いよいよ2026年度がスタートしました。
当院を担う各局の代表者からのメッセージを地域の皆さまへお届けします。

医務局長
山本 雅史

当院では令和8年4月現在、35の診療科において約190名の医師が診療に従事しており、地域の中核病院として幅広い医療ニーズに応え、患者さんに良質で安全な医療を提供できるよう、日々努めています。

しかし、報道された公立病院経営難の例に漏れず大変な赤字です。存続の危機にはありますが、当院を頼ってくださる皆さまのため、医療の質は維持しながら、無駄な経費の削減に努めて頑張りたいと思います。

看護局理念「私たちはチーム医療において質の高い看護を提供します」

看護局は、令和8年4月現在、800名を超える職員で構成される院内最大組織であり、結束力と行動力に溢れていると自負しています。私たちの使命は医療と生活の視点から「人」を看ることです。そのため専門性を発揮し学び支え合える組織を目指しています。

これからも、地域の皆さまに安心安全な医療、療養の提供ができるように取り組んで参ります。

看護局長
北 清美

適切な医療を気持ちよく受けていただけるようサポートします。

医療技術局は、技師の集団です。皆さまが、適切な医療を安心して、気持ちよく受けられるように、それぞれの立場でサポートいたします。

また、昨年も好評でした「医療専門職を目指す高校生のための見学会」を、今年の夏も行います。高校生以外の皆さまも、巻末の案内にあるQRコードから、昨年の様子を是非ご覧になってみてください。

医療技術局長
大木 健史

事務局長
小柳 洋嗣

公立病院の令和6年度決算は、約9割が赤字に陥っており、木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市の事業の一部として病院事業を担っている君津中央病院も例外なく赤字決算でした。しかしながら私たちには、地域にとって、なくてはならない医療機関であるという自負があります。病院事業の存続にかけて、まい進する所存です。

医務局

眼科

当科は常勤医師4名、非常勤医師3名（令和8年3月時点）で眼科一般の診療を幅広く行っており、手術は主に白内障手術・網膜硝子体手術・低侵襲緑内障手術・眼瞼手術などを行っています。

白内障手術では、通常は保険診療内で使用可能な単焦点眼内レンズ・遠方から中間距離まで焦点の合うレンズ・角膜乱視矯正用のレンズなどを選択し使用しています。また、眼内レンズ費用のみ自己負担で行う（選定療養）多焦点眼内レンズや焦点深度拡張型レンズも取り扱っています。後者の場合、ご本人の負担金額が上がりますが、眼鏡装用の場面を減らせる可能性があります。どのレンズもメリットばかりではなく、コントラストが低下したりグレア・ハローといった術後のまぶしさが増強したりする場合もありますので、患者さんのご希望と眼の状況によりご相談の上レンズを決めています。

網膜硝子体疾患・黄斑疾患は、光干渉断層計（OCT）・蛍光眼底造影検査などの検査を行い、手術・レーザー治療・眼局所注射など様々な治療を組み合わせて行っています。

その他、全身疾患（糖尿病・高血圧・自己免疫疾患・薬剤の副作用など）に伴う眼の病気も多数あり、他科医師と連携の上で診療を行っています。

アイフレイルの話

目の病気の多くは加齢に伴い出現します。緑内障や糖尿病網膜症、黄斑疾患など、早期に発見し適切な治療をすることで見え方が維持できる可能性が高くなります。アイフレイルとは、加齢に伴う目の機能低下のことです。アイフレイル啓発サイト（<https://www.eyefrail.jp/>）とは目の健康寿命を延ばすという合言葉のもと、40歳を過ぎたら症状がなくても年1〜2回の眼科検診を勧めています。特に緑内障は、40歳以上の20人にひとり（5%）が罹患しているといわれており、初期には自覚症状がほとんどありません。

早期に発見し適切に治療することで、見え方を維持することが可能になります。アイフレイル啓発サイトでは、ゆがみ・視野の欠け・ドライアイなどセルフチェックのできるページがありますので興味のある方はご覧ください。そして気になることがあれば、まずご近所の眼科を受診してください。

現在当科では混雑緩和のため、医療機関より紹介をいただく形で診療を行っております。そして当院での治療後、状態が落ち着き次第、かかりつけ医に逆紹介となります。限られた医療資源の有効活用のため、医療連携へのご理解ご協力のほどお願いいたします。

アイフレイル チェックシート

40歳を過ぎたら 加齢による目の機能低下を自己点検しよう

- ☐ 目が疲れやすくなった
- ☐ 夕方になると見にくくなるが増えた
- ☐ 新聞や本を長時間見ることが少なくなった
- ☐ 食事の時にテーブルを汚すことがたまにある
- ☐ 眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった
- ☐ まぶしく感じやすくなった
- ☐ はっきり見えない時にまばたきをするが増えた
- ☐ まっすぐの線が波打って見えることがある
- ☐ 段差や階段で危ないと感じたことがある
- ☐ 信号や道路標識を見落としそうになったことがある

☒ チェックが

0 の人は

あなたの目は今のところ健康です。変化を感じたら、またチェックしてください。

1 つの人は

目の健康に懸念はありますが、直ちに問題があるわけではありません。

2 つ以上の人は

アイフレイルかもしれません。一度、眼科医にご相談ください。

アイフレイルチェックリスト Ver. 1.1 (2023年11月改訂) 画面上部の質問について各項目の表現を改定し、信頼性、妥当性のさらなる向上を図りました。

君津中央病院6階東病棟の紹介です。6階東病棟は病床数が50床の消化器外科と乳腺外科を有する外科病棟です。外科医師は16名、病棟スタッフは看護師36名、看護助手2名、クラーク1名、夜間専従看護補助者1名(令和8年3月時点)で、皆とても快活で活気のある職場です。

多くの患者さんは、外科的、内科的手術治療目的、薬剤投与や疼痛コントロール等の保存的治療目的で入院しています。

現在の手術は内視鏡や、ロボットを使った低侵襲(患者さんの体に負担の少ない)手術が多く行われており、入院期間も短期間になっています。手術後は早期回復のためリハビリを積極的に勧めており、患者さんが病棟内の廊下(1周100m)を毎日一生懸命歩いています。多くの患者さんが廊下をリハビリ歩きのコースとして繰り返し歩行する様子は他の病棟にはない光景です。手術直後は、痛みの為1周歩行するのもやっと(大きな手術の後です…当たり前ですが)の患者さんが、日を過ごすことに10周、20周と距離を伸ばし、元気に歩行する姿を、スタッフ一同とてもうれしく見守っています。

内科的手術や疼痛コントロール目的での入院では、

病棟スタッフのみならず、緩和ケアチームが介入し、薬の形態や効果を毎日観察し調整を行います。さらに患者さんの不安に寄り添い、訴えを傾聴し、病棟看護師と情報共有をしながら精神的なサポートも行っています。

毎週水曜日には退院後の生活支援について、他職種(医師、退院支援看護師、リハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカーなど)でカンファレンスを実施し、必要な支援について話し合い、サポートが必要な患者さん一人ひとりの支援を検討しています。様々な職種と協働し患者さんの苦痛が少しでも緩和されるよう努め、社会復帰のサポートを行っています。

6階東病棟では、毎年業務目標を掲げています。昨年度は①多職種連携を強化し、患者の意思決定を支援する②互いの役割や立場を理解し、協力できる職場風土を醸成する③看護の視点で業務改善に取り組み、病院経営に参画する④倫理的感性を養い、質の高い看護を提供する。以上4つを掲げて取り組みました。日々、業務に追われ多事多忙の毎日ですが、看護師として誇りと責任を持って、目標達成のため努力しています。目標を達成することが、延いては、患者さんが安心して入院生活が送れることにつながるよう今後も取り組んでいきたいと思っています。



地域のいのちを守るために

連載
第3回

君津中央病院企業団「経営強化プロジェクト」 地域全体で医療を守るために

君津中央病院企業団では、経営強化に取り組んでいます。今回は、地域医療を守るために地域のみなさまと共有したい現状とお願いについてお伝えします。

救急外来の現状と適正受診のお願い

当院は、地域の救命救急センターとして、ICU(集中治療室)をはじめとする設備や医療スタッフを配置し、交通事故、心筋梗塞、脳卒中など命に関わる重症患者さんに対応できる体制を整えています。しかしながら、医師や看護師など医療人材の確保は年々難しくなっており、小児科等の診療科では夜間当直体制の維持が厳しい状況となっています。

救急外来では、比較的軽症の患者さんの受診もあり、重症患者さんのための医療資源(医療スタッフ、医療機械、ベッド等)が分散してしまう可能性があります。本当に高度な医療を必要とする患者さんに必要な医療を提供し続けるためにも、救急医療の適正な利用へのご理解とご協力をお願いします。体調不良の際には、まずかかりつけ医や地域の医療機関の受診をご検討ください。また、受診すべきか迷った際には、看護師が相談に応じる救急安心電話相談(#7119)・こども急病電話相談(#8000)をぜひご活用ください。

救急医療を本当に必要とする患者さんを優先して受け入れる体制を維持するために、夜間や休日などの時間外に緊急性が高いとはいえない症状で受診された場合には、通常の診療費とは別に時間外選定療養費をご負担いただくことを検討しています。

紹介状による受診について

地域医療は、病院や診療所がそれぞれの役割を分担しながら支えています。通常の外来診療については、まずかかりつけ医や地域の医療機関を受診し、専門的な検査や治療が必要な場合には、基本的には紹介状による予約で当院を受診していただく仕組みとなっています。

自費料金の見直しについて

近年の物価や人件費の高騰により様々な費用が上昇し、病院経営に大きく影響を及ぼしています。これらの事情から保険適用外である特別室の使用料や文書料等について見直しを行いました。(料金については、病院ホームページをご確認ください。)

事務服の廃止について

費用削減を目的に、令和8年4月1日より、病棟ナースステーションや外来診療ブースの受付に従事する事務員等に対する事務服の貸与を廃止し、私服着用での勤務を開始しています。私服を着用する職員に対しては、名札着用の徹底、職場での服装であることを考慮すること、担当する業務内容にふさわしい服装を心掛けることを指導して参ります。

地域医療を未来へつなぐために

君津中央病院企業団では、「経営強化プロジェクト」を通じて、医療の質を維持しながら持続可能な病院経営に取り組んでいます。これからも地域のみなさまに安心して医療を受けていただけるよう努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

この記事に関するお問合せ先：君津中央病院 経営企画課

●令和7年度 難病講演会開催報告

君津地域難病相談支援センター事業の一環として令和8年2月13日に地域の医療介護福祉従事者、地域住民等の皆さんを対象に難病講演会を開催しました。

今年度は「在宅支援に活かすパーキンソン病の運動と生活の考え方」をテーマに、当院リハビリテーション科理学療法士である飯川を講師に迎え、講演が行われました。

当日は54名の参加があり、パーキンソン病の病気の特徴を理解し、危険サインに気づき、具体的な在宅支援につなげられることを講演の目標にして、動画視聴や参加者の皆さんと実際に体操を一緒に行うなど、大変わかりやすく、次の日から活用できるような内容でした。

講演会後のアンケートでは、「わかりやすかったです」「利用者さんにお勧めし、一緒に体操してみます」といった声をいただきました。

今後も難病相談支援センターでは難病患者さんやご家族、支援者の皆さんのお役に立てるような講演会を企画していきたいと思えます。

君津地域難病相談支援センター



大佐和分院からのお知らせ

●人間ドック

ご予約にて承ります。基本検査・オプション検査項目及び費用の詳細については、お問い合わせください。

実施している曜日：毎週火曜日と金曜日(予約制)

●国保・後期高齢者・社保の特定健康診査(特定健診)

木更津市・君津市・富津市・袖ケ浦市にお住まいの方の国保・後期高齢者特定健診、社会保険加入者ご家族の社保特定健診も承ります。受診券がお手元に届きましたら、ぜひご相談ください。(予約制)

●予防接種

各種予防接種(小児の定期予防接種、HPV、高齢者肺炎球菌・带状疱疹など)を実施しています。診察時、担当医にご相談いただくか、予防接種のみでの受診も可能ですので、お問合せください。

●睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査とCPAP療法

●管理栄養士による栄養相談指導

診察時、内科担当医にご相談ください。

●外来担当医表

最新の担当医表は、大佐和分院総合受付または下記の二次元バーコードよりご確認ください。

お問い合わせ先

電話番号：0439-65-1251

窓口対応時間：平日8：30～16：30

大佐和分院
ホームページ



君津中央病院附属看護学校

令和7年度卒業式を挙行了しました

君津中央病院附属看護学校では、令和8年3月6日に卒業式が執り行われ、52名の卒業生が新たな一歩を踏み出しました。卒業生代表は、後輩たちにエールを送るとともに、君津中央病院附属看護学校の卒業生であることの誇りと、命を預かる看護の道を歩んでいく決意を述べました。式典の最後に卒業の歌として「旅立ちの日に」を全員で合唱し、希望に満ち溢れる表情の中にも涙が覗き、さまざまな思いが溢れている様子でした。卒業生52名は、君津中央病院をはじめとする君津保健医療圏内、または県内の医療機関に就職し、地域医療を支える担い手として歩み始めます。これからの活躍にご期待ください。



ホームページ

ベスト進学ネット

令和9年度学生募集情報についてはHPをご覧ください



君津地域難病相談支援センターのご案内

難病相談支援センターでは、難病患者さんとそのご家族が生活の質の向上を図り、安心して地域で生活できるよう、相談することが出来ます。

【相談内容】

医療・福祉に関する相談：難病に関連する医療や福祉サービス、手続き、制度などについての相談を受け付けています。

生活支援に関する相談：日常生活の困りごとや支援が必要な場合、情報提供を行います。

患者会などの紹介：同じ難病を抱える仲間と交流したり、状況を共有したりする为患者会の紹介を行います。

就労支援：労務に関する相談、傷病手当金などの制度、障害者雇用の制度についてアドバイスを受けることができます。必要に応じて、社会保険労務士や千葉産業保健総合支援センターなどと連携して相談にあたります。

【相談時間】

8時30分～17時15分(土日祝日を除く)

【場所・連絡先】

君津地域難病相談支援センター

0438-136-11071(代)

(2階患者総合支援センターが窓口になります)



がんサロン開催のお知らせ

がん患者さんやご家族が病気の悩みや体験を語り合うサロンを開催しています。治療に関する情報交換や日々の生活での悩みや不安を共有し、前向きに生きていくためのサポートを行っています。お気軽にお越しください。

日時	令和8年6月19日(金)、7月17日(金)、8月21日(金) 毎月第3金曜日 14時30分から16時まで
場所	4階 講堂1 *予約は必要ありません。費用無料です。
お問合せ先	TEL 0438-36-1071(代) 担当：がん相談支援センター